

会 議 録

会 議 名	令和5年度第2回東松山市幼児教育振興懇談会			
開 催 日 時	令和5年8月9日（水）	開 会	午後3時30分	
		閉 会	午後4時30分	
開 催 場 所	東松山市民文化センター第3会議室			
会 議 次 第	1 開会 2 あいさつ 3 協議事項 (1) 第1回幼保小三者連絡会の報告 (2) その他 4 閉会			
公開・非公開の別	公開	傍聴者数	0人	
非公開の理由 (非公開の場合)				
参加者出欠状況	巢立 佳宏	出席	中村 昭司	出席
	小佐野 真紀	欠席	竹内 千鶴子	出席
	峯 岩男	出席	稲村 浩之	出席
	眞秀 宏	出席	狐塚 汐里	出席
	本嶋 郁美	出席		
事 務 局	教育委員会教育長 吉澤 勲		子ども家庭部長 神庭 法子	
	子ども家庭部次長 田島 裕之		保育課 課長 阿部 康裕	
	保育課 副課長 山崎 恵子			

	顛	末
1 開 会	事務局	
2 あいさつ	東松山市教育委員会教育長 吉澤 勲	
	座長については、第1回東松山市幼児教育振興懇談会において、 峯岩男氏を選任済 会議録署名人に眞秀宏氏、狐塚汐里氏を指名	
3 議 題	座 長 議題（1）の第1回幼保小三者連絡会の報告について事務局から説明をお願いします。 事務局 （説明） 座 長 このことについて、御質問や御意見等がございましたらお願いします。 全 員 （特になし） 座 長 ないようですので、御承認いただいたということで進めさせていただきますが、本日は、公開授業に御参加いただいた先生方がお揃いですので、公開授業の感想や今後に向けてのご意見を頂戴できればと思います。まずは、大岡小学校での公開授業について私から申し上げさせていただきます。今までの授業は先生が主導的立場になって進めていたと思いますが、授業内容が今年度のテーマに沿い、子どもが主体的に授業に取り組む姿が見られました。興味関心を持ってもらいたい、という先生の意図を感じ取ることができました。 巢立氏 クラスの中に落ち着きがなく騒いでしまう子がいても、回りは流されることなく授業に集中し、学校の指導力、組織力に驚かされました。 竹内氏 子どもらしい視点で漢字集めをしており、それを上手に先生がまとめていたのが印象的でした。また、研究協議では、主体的で対話的で深い学びに向けた資質能力を育む取組を各園ではどうやっているかに重きを置いて話し合いを行いました。その中で、「気づきは子ども、共感は大人が行う」ことを大切にしているという意見があり感心いたしました。	

	<p>狐塚氏 先生がエプロンを着けて、穏やかな声で授業をしていたのが印象的でした。幼稚園や保育園との温度差がないようにとの計らいを感じ、居心地の良い授業でした。また、公開授業で子ども達の姿を見て、日々の保育の振り返りをしながら、研究協議で幼保小間での意見交換をしました。その答え合わせが、今日の吉永先生のお話を聞いてできたように思います。この公開授業・研究協議を行った後の研修会という流れが、とても良かったです。</p> <p>座長 続いて、新宿小での公開授業について御感想等をいただければと思います。</p> <p>中村氏 幼稚園、保育園では、遊びを中心に、友達関係や自立心、道徳性などを身につけていきます。それを生かして、スムーズに小学生になってほしいと思います。東松山市の幼保小三者連絡会は、とても良い取り組みです。幼保小の先生方がお互いの教育、保育を見ることによって、接続がうまくいくのだと思います。今後も続けてほしいと思います。</p> <p>本嶋氏 できた子が終わらない子に教えていた姿が、子ども主体で授業を進めていると感じました。また、ずっとマスク生活だった為、相手の表情を読み取る力や会話力などが以前よりできていない子が多くいると感じており、どうしたら取り戻せるのか悩んでいます。</p> <p>座長 私は、けん玉づくりの授業で皆が同じ材料で作っていたことについて、感じたことがあります。子ども達一人ひとりが必要な材料を考え、持ち寄った材料でけん玉を作ることが、主体的・対話的で深い学びにつながるのではないかと感じました。</p> <p>では次に、本日は吉永先生の研修会後ですので、研修会の感想などをお聞かせいただけたらと思います。</p> <p>稲村氏 学校でも自宅から持ち寄った材料で図工の作品を作っていくことは多々あります。ただ、その発想力や想像力の中に子ども達の完成品の良さを見ながら、評価をしていくのは大変難しいものがあります。ですので、最近では、複線型授業というスタイルが始まりだしたところで</p>
--	--

	<p>す。「今までは一斉に同じことをしましょう。」というスタイルだったかと思いますが、それを超えて、子ども達の興味関心を引き出し、主体的・対話的な授業へと取り組み始めています。また、先日、1・2年生の担任が保育園へ出向いたのですが、「保育園でも様々な取組をしているということがわかりました。」と報告がありました。実際に子ども達の活動を目の前にして話し合いをすることが効果的であることを実感いたしましたので、こういった取組が東松山市にはあることを校長会でも積極的に広めていきたいと思えます。</p> <p>眞秀氏 小学校ではどうしても時間的制約があります。そこが保育園や幼稚園と違うところですが、そこをスムーズにつなぐ必要性はあります。また、園では一番大きな年長さんだったのが、小学校に上がると一番小さなかわいい1年生になってしまい、本当はもっとできることがあると園の先生方は仰っておられました。</p> <p>座長 よく聞くのが、園では笑顔が絶えない子だったのに、入学したら笑顔が消えてしまったという話です。それは何故か。やはり根底にあるのは「繋がり」です。幼児教育は、遊びを中心として子どもを育てるということを、学校側の先生がどの程度それを真摯に受け止めて理解しているかが重要です。幼児教育でそのような環境の中で育まれたことが、学校でのあまりにも大きな変化にぶつかれば、子ども達は戸惑い、笑顔は当然消えてしまいます。それが長期になれば、不登校につながり兼ねないのではないのでしょうか。</p> <p>竹内氏 今日の研修会で勉強になったのは、園で決まった行事の中で、子ども達が主体的に作り上げていく保育を心がけていますが、まだまだ遊び中心で作り上げていないと感じたことです。</p> <p>本嶋氏 日々の保育の中で、自分のやりたいことをやらせてあげたいと思うのですが、やはり時間に追われて切り上げてしまっており、主体的な保育をしなければいけないと反省しました。</p>
--	--

	<p>座 長 今日参加された先生方も相当反省されて帰られたのではないのでしょうか。ですので、研修会の後に、幼稚園や保育園、認定こども園を合わせて2万の施設のうち、主体的な保育を実践できているのは2割程度しかないというお話をさせていただきました。今後は、この点を課題とし、その上で幼保小の接続を考えていくべきでしょう。</p> <p>狐塚氏 主体的な保育を常に念頭に置き、若い先生方にしっかり伝え、考えてもらい、どんな声かけが子ども達の意見を引き出せるのかということ園内で統一していきたいと思いました。それから、履き違えてはいけないと感じたことは、子ども達の主体性と、ただやりたいという要望、それを見極める力も保育士に求められていると思いました。</p> <p>中村氏 私は今、幼稚園の園長をしておりますが、やはり先生が主体となっているように見えます。子ども達が主体的に考え、自然に対して興味関心、好奇心を持てる環境を作ってあげる、そういうことを意識しながら保育をする必要があると感じました。</p> <p>巢立氏 子ども主体ということは重要ですが、ただ現実的には保育者の想いもあるでしょうし、そのバランスが難しいのではないのでしょうか。</p> <p>座 長 放っておけば子ども達が主体的に動くわけではなく、人的、物理的、自然的な環境を豊かに整えておくことを園は常に考えていなければなりません。また、サークルタイムの時間があると尚更良いでしょう。今日の研修会の写真に、円型になって話し合う姿がありました。あれこそがサークルタイムです。あの活動で子ども同士、刺激を受け、一人ひとりの意見が生まれ、それを共有し繋がっていく。学校においても少しの時間でいいので、一緒に考える時間を設けてくれるといいと思います。そのためにも、地域の実情に合わせたスタートカリキュラムが必要なのではないのでしょうか。身近な市町村では、福生市や横浜市などでそういった動きがあります。幼児教育</p>
--	---

	<p>の視察先に東松山市がなっていってくれたらありがたいと思います。</p> <p>以上で、議題については終了とさせていただきますが、事務局から何かありますか。</p> <p>事務局 事務局より3点報告。</p> <p>①本日の資料『第1回幼保小三者連絡会実施報告』の冊子を各保育園、幼稚園、小学校へ送付することについて</p> <p>②令和5年度第2回幼保小三者連絡会について</p> <p>③令和5年度第3回幼児教育振興懇談会について</p> <p>座長 以上3点について、御意見等ございますか。</p> <p>全員 (意義なし)</p> <p>座長 ないようですので、御承認いただいたということにいたします。ほかに何かございますか。</p> <p>事務局 特にありません。</p> <p>座長 なければ、これで全ての議事を終了しましたので、座長を下ろさせていただきます。御協力ありがとうございました。</p>
4 閉 会	<p>事務局 それでは、令和5年度第2回幼児教育振興懇談会は以上をもちまして閉会させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
<p>上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。</p> <p>令和5年9月5日</p> <p>署名委員 <u> 眞秀 宏 </u></p> <p>署名委員 <u> 狐塚 汐里 </u></p>	